

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 エバラ食品工業株式会社

コード番号 2819 URL <http://www.ebarafoods.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤川 雍中

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 水谷 直照

TEL 045-314-0121

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト他向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	25,139	3.2	1,445	△7.6	1,546	△4.6	818	△3.1
22年3月期第2四半期	24,363	3.2	1,564	41.1	1,620	39.3	844	126.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	77.11	—
22年3月期第2四半期	79.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	30,710	18,469	60.1	1,740.33
22年3月期	30,404	18,010	59.2	1,696.87

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 18,469百万円 22年3月期 18,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,610	2.0	2,170	31.1	2,218	26.6	1,198	43.6	112.87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	12,398,400株	22年3月期	12,398,400株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,785,508株	22年3月期	1,784,290株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	10,613,532株	22年3月期2Q	10,616,616株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策効果等により、景気は持ち直しの兆しが見られたものの、厳しい雇用情勢やデフレ状況が続く等、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

食品業界におきましても、生活防衛意識の高まりから、消費者の低価格志向が継続する等、依然として厳しい状況となっております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、食品事業及びその他事業がともに前年同期実績を上回った結果、251億39百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

一方、利益面では、前期の設備投資に伴う減価償却負担額の増加及び売上品群構成の変化等により、営業利益14億45百万円(同7.6%減)、経常利益15億46百万円(同4.6%減)、四半期純利益8億18百万円(同3.1%減)となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

(食品事業)

家庭用商品につきましては、肉まわり調味料群及び鍋物調味料群が、前年同期実績をわずかに下回ったものの、野菜まわり調味料群が大幅に売上高を伸ばした結果、前年同期売上高を上回りました。

肉まわり調味料群につきましては、2月にアイテムを追加した『おろしのたれ』『焼肉応援団』の両シリーズが、高い伸び率を示したものの、基幹商品である『黄金の味』が、前年同期の大幅伸長の後を受け、微減となったことにより前年同期売上高をわずかに下回りました。

鍋物調味料群につきましては、8月に発売した新商品『蒸し鍋のたれ』やパウチタイプの『ちゃんこ鍋の素』の市場導入が順調に進んだ一方、鍋物メニューの多様化及び低価格志向の影響を受けて『すき焼のたれ』が低調であったことから、売上高は前年同期にわずかに及びませんでした。

野菜まわり調味料群につきましては、『浅漬けの素』のテレビCMによる次世代へのアプローチ強化と、新たな食べ方の訴求等を積極的に行った結果、新たな顧客層の獲得に成功し、前年同期売上高を大幅に上回りました。

その他群につきましては、専任の営業員や開発スタッフの増員等、事業体制を強化したチルド商品が、継続的な販売促進活動と、新商品の市場導入が順調に進んだことにより、前年同期売上高を上回りました。

業務用商品につきましては、肉まわり調味料群が、国内外における『焼肉のたれ』の伸長により、前年同期売上高を上回りました。スープ群につきましては、ラーメンスープ群が大幅に売上高を伸ばし、その他群につきましても、『浅漬けの素』や『トマト鍋の素』等が続伸したことにより、前年同期売上高を上回りました。

以上の結果、食品事業全体の売上高は、227億83百万円(同3.1%増)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、物流事業が新規取引先の獲得により売上高を伸ばし、広告宣伝事業も前年同期を上回りました。人材派遣事業は厳しい雇用環境の影響を受けて、前年同期実績に及ばなかったものの、その他事業全体では前年同期売上高を上回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は23億55百万円(同4.2%増)となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び製品群名	前第2四半期累計期間 売上高実績	当第2四半期累計期間 売上高実績	前年同期比
	百万円	百万円	%
食品事業	22,103	22,783	3.1
家庭用商品	17,673	18,155	2.7
肉まわり調味料群	10,088	10,007	△0.8
鍋物調味料群	3,438	3,428	△0.3
野菜まわり調味料群	2,635	3,184	20.8
その他群	1,511	1,534	1.6
業務用商品	4,429	4,628	4.5
肉まわり調味料群	1,422	1,472	3.5
スープ群	1,779	1,826	2.7
その他群	1,227	1,329	8.3
その他事業(広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業)	2,260	2,355	4.2

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し3億5百万円増加して307億10百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億49百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が19億47百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億53百万円減少して122億40百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億35百万円増加した一方で、未払金が12億79百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、4億59百万円増加して184億69百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億31百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ7億51百万円減少し、53億13百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億68百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益14億92百万円を計上し、仕入債務の増加額が7億35百万円であったものの、売上債権の増加額が19億46百万円であったこと等が主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、11億38百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億48百万円と有価証券の取得と償還による純収入4億99百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億80百万円となりました。これは主に、配当金の支払額2億78百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績が概ね計画通りに推移している現時点におきましては、平成22年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①税金費用の計算

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降、経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ2,860千円減少し、税金等調整前四半期純利益は42,151千円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160,491	7,010,018
受取手形及び売掛金	9,095,651	7,148,084
有価証券	130,124	599,719
商品及び製品	1,184,212	1,226,037
原材料及び貯蔵品	330,654	447,146
繰延税金資産	370,864	373,789
その他	616,953	526,146
貸倒引当金	△14,003	△1,944
流動資産合計	17,874,948	17,328,998
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,012,443	3,012,443
その他(純額)	5,827,620	5,840,223
有形固定資産合計	8,840,064	8,852,667
無形固定資産		
投資その他の資産	394,262	427,204
投資有価証券	1,731,892	1,833,220
長期貸付金	7,759	3,467
繰延税金資産	1,181,178	1,142,628
その他	744,610	881,053
貸倒引当金	△64,674	△64,673
投資その他の資産合計	3,600,766	3,795,695
固定資産合計	12,835,093	13,075,567
資産合計	30,710,042	30,404,565

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,940,906	5,205,676
短期借入金	166,404	166,404
未払金	1,210,094	2,489,812
未払法人税等	679,638	521,463
賞与引当金	239,069	250,405
販売促進引当金	552,257	435,053
その他	485,402	360,329
流動負債合計	9,273,774	9,429,144
固定負債		
退職給付引当金	2,656,958	2,557,872
資産除去債務	11,325	—
その他	298,083	406,803
固定負債合計	2,966,366	2,964,676
負債合計	12,240,141	12,393,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,214,386	16,682,606
自己株式	△1,855,807	△1,854,225
株主資本合計	18,400,971	17,870,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,737	117,674
為替換算調整勘定	8,191	22,296
評価・換算差額等合計	68,929	139,971
純資産合計	18,469,901	18,010,744
負債純資産合計	30,710,042	30,404,565

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	24,363,146	25,139,504
売上原価	12,241,364	12,776,350
売上総利益	12,121,782	12,363,153
販売費及び一般管理費	10,556,895	10,917,471
営業利益	1,564,886	1,445,682
営業外収益		
受取利息	18,138	13,566
受取配当金	14,018	15,734
受取賃貸料	6,263	11,943
保険解約返戻金	10,372	46,603
その他	9,402	15,143
営業外収益合計	58,195	102,991
営業外費用		
支払利息	2,403	1,991
為替差損	594	381
その他	0	—
営業外費用合計	2,998	2,373
経常利益	1,620,084	1,546,301
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,099	—
特別利益合計	3,099	—
特別損失		
固定資産売却損	820	650
固定資産除却損	15,754	12,245
投資有価証券評価損	1,005	—
ゴルフ会員権評価損	—	1,370
減損損失	50,478	—
事業所移転損失引当金繰入	9,177	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,291
特別損失合計	77,235	53,556
税金等調整前四半期純利益	1,545,947	1,492,744
法人税等	701,265	674,383
少数株主損益調整前四半期純利益	—	818,360
四半期純利益	844,682	818,360

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	12,697,943	13,159,878
売上原価	6,459,835	6,682,322
売上総利益	6,238,108	6,477,556
販売費及び一般管理費	5,316,920	5,571,808
営業利益	921,188	905,747
営業外収益		
受取利息	8,046	7,526
受取配当金	1,366	1,824
受取賃貸料	3,145	5,883
その他	4,073	7,245
営業外収益合計	16,632	22,479
営業外費用		
支払利息	1,233	1,038
為替差損	190	339
その他	0	—
営業外費用合計	1,424	1,377
経常利益	936,395	926,849
特別損失		
固定資産売却損	820	650
固定資産除却損	2,883	8,400
投資有価証券評価損	1,005	—
ゴルフ会員権評価損	—	160
減損損失	50,478	—
事業所移転損失引当金繰入	9,177	—
特別損失合計	64,365	9,210
税金等調整前四半期純利益	872,030	917,638
法人税等	381,461	394,479
少数株主損益調整前四半期純利益	—	523,158
四半期純利益	490,568	523,158

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,545,947	1,492,744
減価償却費	483,256	623,653
固定資産除却損	15,754	12,245
固定資産売却損益(△は益)	820	650
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,291
投資有価証券評価損益(△は益)	1,005	—
減損損失	50,478	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,099	12,059
退職給付引当金の増減額(△は減少)	131,116	99,085
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,046	△11,336
販売促進引当金の増減額(△は減少)	104,239	117,203
事業所移転損失引当金の増減額(△は減少)	9,177	—
受取利息及び受取配当金	△32,156	△29,300
支払利息	2,403	1,991
売上債権の増減額(△は増加)	△1,725,542	△1,946,428
たな卸資産の増減額(△は増加)	△179,736	156,919
仕入債務の増減額(△は減少)	670,912	735,523
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,082	103,655
長期未払金の増減額(△は減少)	△83,807	△94,811
未払金の増減額(△は減少)	△7,084	△72,509
その他	△136,517	△90,688
小計	912,295	1,149,947
利息及び配当金の受取額	24,231	25,925
利息の支払額	△606	△2,355
法人税等の支払額	△308,772	△504,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,147	668,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	2,204	4,002
貸付けによる支出	△1,300	△9,300
定期預金の払戻による収入	—	110,000
定期預金の預入による支出	△10,000	△12,130
投資有価証券の取得による支出	△67,657	△21,404
有価証券の償還による収入	1,090,000	600,000
有価証券の取得による支出	△999,604	△100,228
有形固定資産の売却による収入	3,079	67
有形固定資産の取得による支出	△776,460	△1,548,104
無形固定資産の取得による支出	△44,283	△254,481
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△28,000
その他	27,302	121,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△776,718	△1,138,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△284,593	△278,454
自己株式の売却による収入	471	—
自己株式の取得による支出	△2,251	△1,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,373	△280,036

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,918	△2,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△424,026	△751,656
現金及び現金同等物の期首残高	6,428,301	6,065,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,004,275	5,313,511

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	食品事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	22,103,135	2,260,010	24,363,146	—	24,363,146
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,103,135	2,260,010	24,363,146	—	24,363,146
営業利益	1,665,294	135,032	1,800,327	(235,440)	1,564,886

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは食品事業を主な業務としており、「食品事業」を報告セグメントとしております。

「食品事業」は肉まわり調味料、鍋物調味料、野菜まわり調味料、スープ等の製造及び販売事業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	22,783,976	2,355,527	25,139,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	22,783,976	2,355,527	25,139,504
セグメント利益	1,529,735	76,057	1,605,792

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,529,735
「その他」の区分の利益	76,057
全社費用（注）	△160,110
四半期連結損益計算書の営業利益	1,445,682

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（追加情報）

第1 四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。